

喜びへの入り口

スジャータ・リングワ

1978年、4年間自分独自のやり方で精神の旅をたどった後、私は、初めてバーバ・ムクターナダとのシャクティパート・インテンシヴに参加しました。1974年からシッダ・ヨーガの教えに従ってきていた夫のマルセルからバーバについて学んでいたものの、特定の道に身をささげることには慎重になっていたのです。しかし、時がたつにつれて、私は、スワーミ・ムクターナダについて、そして、カリフォルニア州オークランドのシッダ・ヨーガ・アーシュラムでの次のインテンシヴを通して何が明らかにされるのかについて、次第に関心を持つようになったのです。

私がインテンシヴの中で受け取ったものは、想像していたよりもはるかに大きなものでした。瞑想の時間の一つで、バーバがシャクティパート・ディークシャーを与えながら瞑想ホールを歩き回っていた時、彼は私の頭のとっぺんに触りました。私は直ちに自分の中に深く、深く入っていく感覚を覚え、そしてそこに、私の存在のまさに底に、ドアが見えました。このドアの上に、あらゆる習慣的な自己判断と批判をもって、自分自身を理解する限られたやり方を見ることができました。

その週末、私は喜びと明らかにされたものによる涙をたくさん流しました。

インテンシヴの終わりに、バーバはダルシャンを与え、そしてマルセルが私をバーバに紹介しました。私がどれほど幸せであるかを、またこのインテンシヴの4年前からバーバを知っていたことを、必ずバーバに伝えてほしいと夫に頼んでいました。

マルセルが私のメッセージを伝えた後、バーバは眼鏡を鼻先に動かして眼鏡越しに私を見ました。彼は言いました。「ほらね！もし4年前のインテンシヴに参加していたら、あなたはそれからずっとこんなに幸せだっただろうに！」

バーバの言葉は、私の心に真っ直ぐに入り込み、私の中にパラダイムシフトを引き起こしました。分離の感情を引き起こす考えや見方が自分自身の幸せを妨害していたと、私は気づき始めました。私の喜びは外側からの何ものにも依存していないことが分かりました。私がシッダ・ヨーガのシャクティパート・インテンシヴに初めて参加してから 40 年以上がたちましたが、マントラの繰り返しと瞑想という恩恵に満ちた修行を通して、私はこの内なる入り口を開き続けてきました。

